

兵庫 庫 県
保 險 医 協 会

加古川
高砂

支部ニュース

No. 227

2014年1月25日

発行

兵庫県保険医協会 加古川・高砂支部

(連絡先) 神戸市中央区海岸通一丁目三十一

神戸フコク生命海岸通ビル五階

電話〇七八(三九三)一八〇一

新年のごあいさつ

加古川・高砂支部

支部長 岡部 桂一郎

今こそ診療報酬の引き上げを！



新年明けましておめでとうござ
います。旧年中は、当協会諸活動
にご理解、ご協力賜り厚く御礼を
申し上げます。本年も加古川・高
砂支部のさらなる発展を願い努力
して参りたいと存じます。

さて、昨年末の臨時国会では、
社会保障改悪をすすめるプログラ
ム法案、生活保護改悪法案、さら
に特定機密保護法案など、安倍政
権が民意を無視し民主主義を脅か
しかねない悪法を、数の力で強引
に次々と成立させました。

当面の政策課題として、今年の
4月から消費税の増税に加えて、
70歳〜74歳の患者窓口負担を
現在の1割から2割の段階的引き
上げが予定されています。また、
国民健康保険の運営主体を都道府
県へ移行することによる保険料の
引き上げ、介護保険では、要支援

者の訪問・通所介護サービスの保
険給付は、一定以上所得者の
利用料の引き上げ、施設居住費・
食費負担などが予定されていま
す。2014年診療報酬改定につ
いては、全体でプラス0.1%と
したものの、消費税増分を除くと
実質マイナス1.26%となり、
6年ぶりのマイナス改定となって
います。

兵庫県でも「第3次行革プラン」
として、老人医療費助成および母
子家庭等医療費助成の改悪が盛り
込まれるなど、国と一体となって
社会保障改悪をすすめるようとして
います。

私たちは、診療報酬引き上げ、
患者窓口負担の軽減など社会保障
改善のため努力を尽くすとともに
に、社会保障優先の政治への転換
を強く求めて闘う決意です。

このような情勢の中、当支部の
活動方針として、以下の点を主要
課題として取り組みたいと考えて
おります。

- ① 2014年度診療報酬改定に向
けて、支部でも改定研究会を独自
に開催するなど対策を強める。
- ② 学術研究会や気軽に参加できる
- ③ 保険請求や審査、指導・監査に
関する情報交流や医院経営問題な
ど、協会ならではの活動にいつそ
う力を注ぐ。
- ④ 「接遇研修」「医療安全管理対策」
など、スタッフも含めた企画を引
き続き開催する。
- ⑤ 加印社会保障推進協議会は、会
長を引き受けている団体として一
層努力する。「健康と医療について
語り合う会」などを通じ、他団体
との交流を強める。
- ⑥ 日常診療に役立つ情報、地域の
情報提供など会員相互のコミュニ
ケーションを培う支部ニュース作
りをめざす。
- ⑦ 支部活動の基礎となる幹事会の
充実のため、出席者の確保をふく
め改善をめざす。

最後に、支部活動は会員さんで
あれば、いつでもだれでも気軽に
ご参加いただけます。色々なアイ
デアや知恵をお貸し下さいますよ
うにお願いして、ごあいさつとさ
せていただきます。



社会保障は憲法に基づき国の責任で充実!

社会保障施策の拡充・改善を求めて高砂市と懇談

加印社会保障推進協議会(加印社保協) 会長 保険医協会加古川・高砂支部長 岡部圭一 郎先生
は、去年11月28日、高砂市



役所において、国保・介護・教育・医療・子育てなど社会保障に関する対市交渉をおこなった。各論では「国保料金の安易な引き上げを行わない」ため「一般会計からの繰り入れの推移」が議論されたほか、「滞納者の差し押さえ」物件をネットさらすのは行き過ぎ

ここ数年は毎年この時期実施しているもので、今回も市当局の関係部署より十数人が、社保協側より年金者組合や中小業者団体、福祉医療関係者ら11人が出席、それぞれの課題で意見交換をおこなった。「国の介護保険改悪に反対し、独自の立場で懇切・丁寧に」「警察0

高砂市はあらかじめ申し入れていた兵庫県社保協の統一要望とアンケートに回答を寄せており、当日はその内容を踏まえて短時間ではあったものの、「社会保障は自助・相互扶助ではなく「憲法25条に基づく国の責任において充実させるもの」との基本理念を確認した。美町については行政当局が懇談に応じない姿勢を示している。

なお、加古川市とは12月26日に懇談を行ったが、播磨町と稲美町については行政当局が懇談に応じない姿勢を示している。

日時 3月29日(土)
会場 加古川市勤労会館

※医科、歯科それぞれ研究会を予定しております。
開催時間など詳細は決まり次第お知らせいたします。

交通図

